

図書館員のひみつの本棚 第 149回

今月は70年以上前に書かれ、今でも楽しまれているお話です。

『かさをかしてあげたあひるさん』 村山壽子おはなし集

村山 壽子／著 山口 マオ／絵 福音館書店 2010年 1296円

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 低学年☆☆☆ 中学年—— 高学年—— 中学生——
高校—— 一般——

(☆が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

雨の日に傘がなくてこまっていたお友達に傘を貸してあげた優しいあひるさんのお話(「かさをかしてあげたあひるさん」)や、お友達のたまねぎさんの見送りに遅刻しそうになってしまうお寝坊なじゃがいもさんの話(「おねぼうなじゃがいもさん」)、なくしたひげがたぬきの古道具屋で売られているのを見つけるライオンさんの話(「ライオンの大ぞん」)など、17の短いお話が入っています。大人に読んでもらっても楽しめますし、一人読みを始めた子どもにもぴったりの本です。

<子どもに手渡す時のポイント>

1930年前後に発表されたお話です。今ではあまり使わないような言い回しなどもありますが、ストーリーは子どもに身近でわかりやすく、ユーモアもあり、今の子どもたちにも楽しい内容になっています。この本は2010年の発行なので、挿絵や文字、装丁も現代の子どもたちに違和感なく受け取ってもらえる作りとなっています。また、同著者で紙芝居になっている作品も多くありますので、子どもたちが気に入ってくれたら、そちらも読んであげてください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

